



チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学

日本語教育学科

2025-2026



+90 286 217 4763



japanese@comu.edu.tr



japanese.egitim.comu.edu.tr



comu_japonca





学科について

沿革

日本語教育学科は、1993年にチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学初代学長A.メテ・トゥンチョク教授の主導により設立された。日本語が中等教育における第二外国語として導入される流れを受け、日本語教師を専門的に育成する学科として教育学部内に開設された。開設記念式典には、三笠宮崇仁親王・同妃両殿下、ならびに在トルコ日本国大使夫妻がご臨席されるなど、日土両国の絆を象徴する華やかな門出となった。

本学科は、トルコで初めて、そして唯一の日本語教師養成機関であり、ヨーロッパ・アフリカ・中東地域でも最も早期に設立された先駆的な学科として知られている。

設立当初は日本人講師3名と学生18名でスタートしたが、2025年現在では教員8名、学生約220名を擁し、国内外で活躍する多くの卒業生を輩出している。教員の半数は日本人であり、トルコ人教員も全員が日本の大学で学位を取得しているため、実践的で本格的な日本語教育が展開されている。

教育目的と特徴

本学科の使命は、教育と文化の両面から日本とトルコの相互理解と交流を深めることである。学生一人ひとりが日本語を「使える」だけでなく、「教えられる」「活かせる」力を身につけ、世界で活躍できる人材として成長することを目指している。

主な教育目標は次の二点である：

1. トルコの中等教育で日本語を教える優れた教師の養成
2. 日本企業や国際的な環境で活躍できる実践的な専門人材の育成

また、言語教育・社会・文学・歴史などの幅広い分野を学び、深い教養と国際感覚を兼ね備えた人材を育てる。

学科での学びを通して、学生は単なる言語能力を超え、異文化理解力とグローバルな視野を備えた「日本と世界をつなぐ架け橋」として活躍することが期待されている。

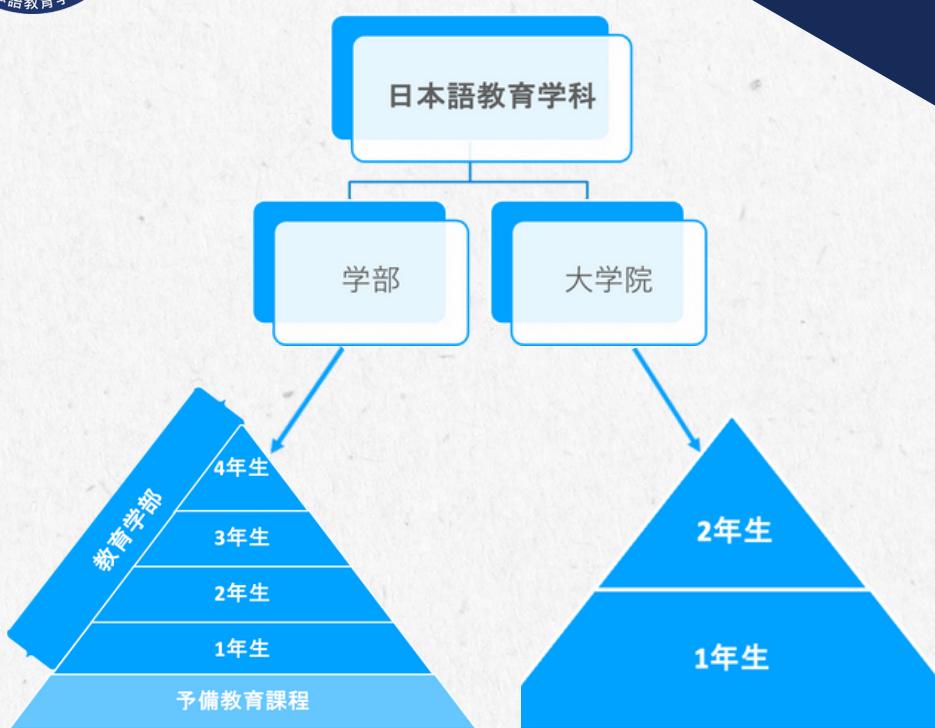


目次

- 学科構成
- 教育システム・カリキュラム
- 統計で見る日本語教育学科
- 授業以外での自己啓発の機会
- 国際連携
- 海外研修プログラム
- 教員
- 学科内業務分担



学科構成



日本語教育学科は、学部課程と大学院課程から構成され、日本語教師として必要な知識と技能を体系的に身につけることを目的とする。

学部課程では、まず外国語短期大学における1年間の日本語必修コースを基盤とした予備教育課程で基礎力を養い、その後1年生から4年生まで段階的に日本語、言語学、日本語教育学の専門性を深める。学年が進むにつれて高度な科目へと移行し、4年次には教育実習を含む実践科目を履修し、日本語教師としての総合的な能力を高める。

大学院課程では、日本語教育学および言語学の理論研究と実践研究をさらに発展させ、高度な研究能力の育成を図る。



教育システム・カリキュラム

予備教育

(1年目)

A2

基礎日本語

四技能導入

1年生

(2年目)

B1

中級日本語

- * 中級日本語
- * 教育学関連科目

2年生

(3年目)

B1-B2

中級日本語

- * 中級日本語習得
- * 日本語応用開始
- * 教育学関連科目
- * 選択科目で日本学

3年生

(4年目)

B2

習得から実践へ

日本語を学ぶのではなく、日本語を使う
(文学・文化・社会・言語学など)

4年生

(5年目)

B2-C1

実践と卒業への準備

中上級日本語の運用
卒業への準備

本学科のカリキュラムは、予備教育から4年生（5年目）まで段階的に日本語運用能力を高める構成となっている。

まず予備教育（1年目）ではA2レベルを目標とし、基礎日本語を中心に四技能の導入を行う。続く1年生（2年目）ではB1レベルを目指し、中級日本語を学ぶとともに、教育学に関わる科目も履修する。2年生（3年目）ではB1からB2レベルへの発展を図り、中級日本語の習得、日本語応用科目の開始、教育学関連科目の継続や選択科目による日本学の学習など、学びの幅を広げる。3年生（4年目）ではB2レベルに到達することを目標とし、「習得から実践へ」をテーマに、日本語を学ぶだけでなく、日本語を用いて文学・文化・社会・言語学など多様な分野に触れながら実践的な運用力を養う。4年生（5年目）ではB2からC1レベルを目指し、より高度な日本語運用能力の強化と卒業に向けた準備を進める。



統計で見る日本語 教育学科

本学科は創設33年目を迎え、これまでに27期・累計650名の卒業生を輩出し、現在の正式在籍学生数は220名である。

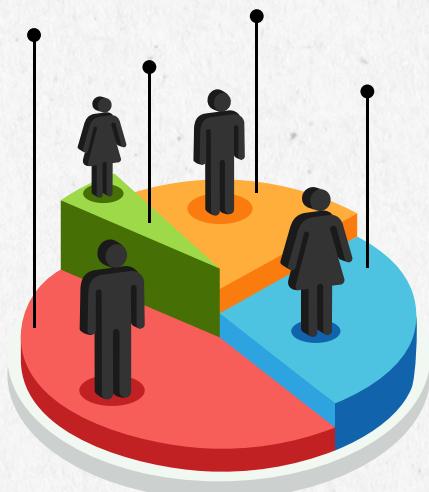
学生の家庭の社会経済的背景を見ると、低所得層が50%、中所得層41%、中上所得層9%となっている (Özşen, 2022)。

入学前に日本語を全く知らなかった学生は59%に及び、29%は独学、8%は語学学校出身、3%はJLPT資格保持者である (Özşen, 2022)。

また、学生が日本語学科を選んだ理由としては、日本語および日本文化への関心が最も高く62%を占め、その内訳は日本語35%、伝統文化13%、ポップカルチャー14%である。また、就職機会(20%)や進路指導(17%)も動機として挙げられている (Özşen, 2022)。

さらに、78%の学生が「COMU日本語教育学科が最も良い」と回答しており、その理由として13%が「チャナッカレに所在しているため」と述べている (Özşen, 2022)。出身地に関しては、95.1%がチャナッカレ県外からの入学者である (YÖK ATLAS, 2024)。

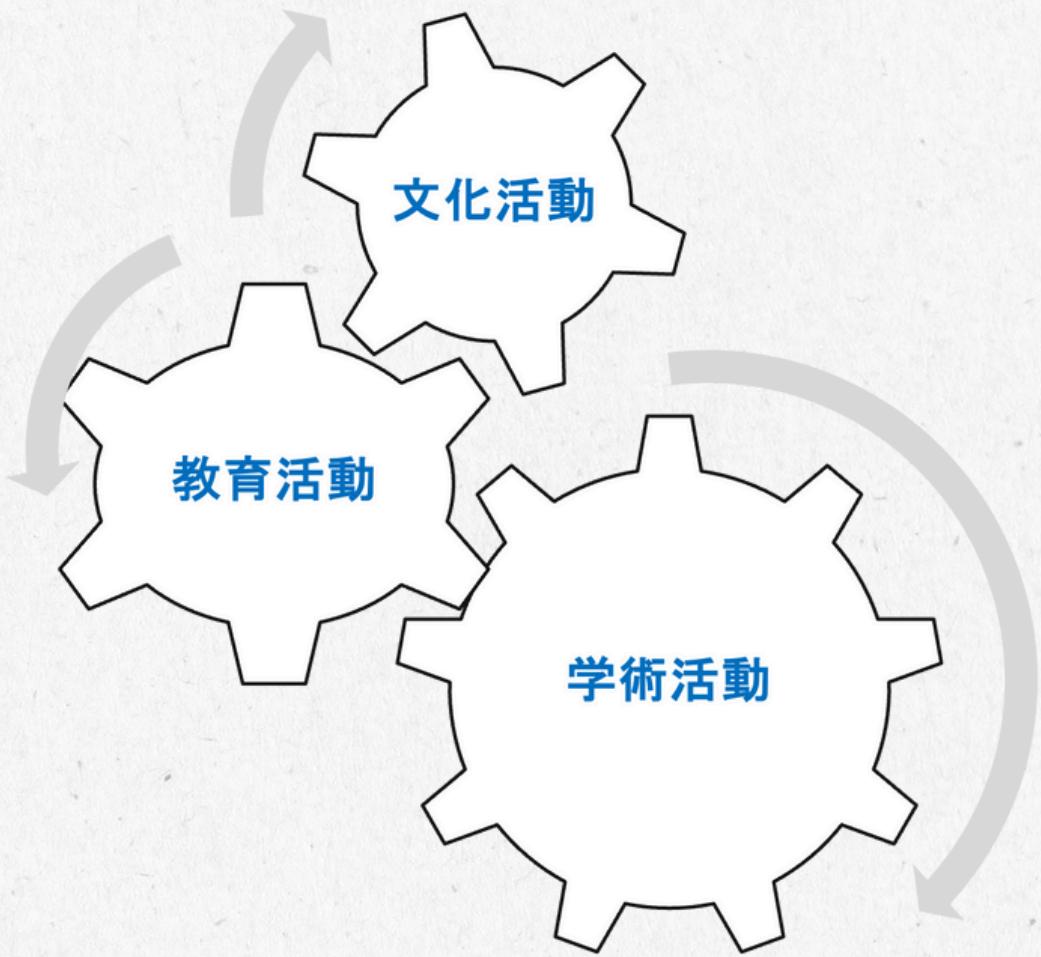
入学時の志望順位では、53.7%が第一希望で入学し、第三希望以内での入学者は30名(41名中)となっている (YÖK ATLAS, 2024)。合計志望者数は474名で、そのうち第一志望者は99名(20.9%)、第二・第三志望者は232名(48.9%)である (YÖK ATLAS, 2024)。





授業以外での自己 啓発の機会

授業以外にも文化・教育・学術の各活動を通して
多面的に自己を成長させる機会が得られる。





授業以外での自己啓発の機会

学術活動

国際講演会



4ヶ国日本学学生国際フォーラム



日本語・日本文化研修プログラム





授業以外での自己 啓発の機会

文化活動





授業以外での自己啓発の機会

教育活動

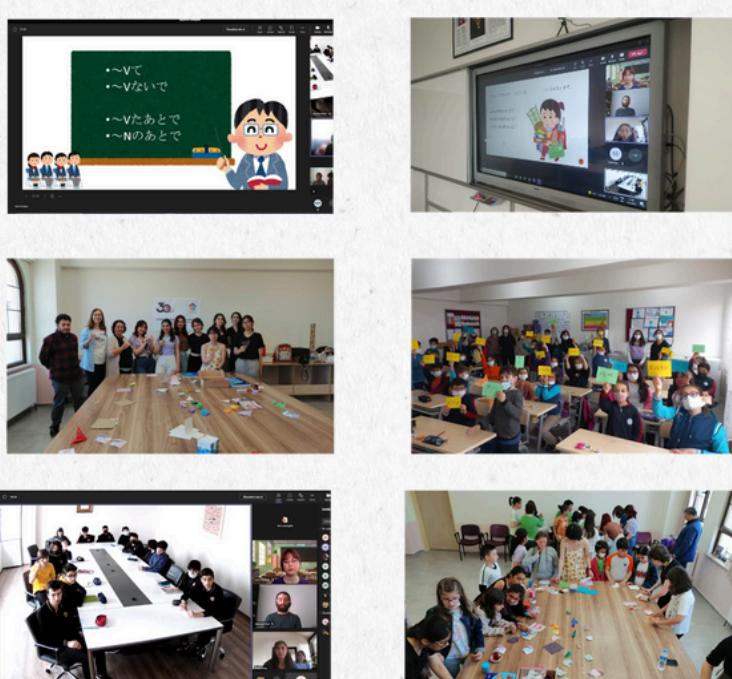
幼稚園・小学校における日本語教育



「先輩たちが語る」 キャリアトークシリーズ



初等教育機関との連携



国際連携



JUEN
Joetsu University of Education

NANZAN UNIVERSITY

KANAZAWA UNIVERSITY

KANSAI UNIVERSITY

熊本大学
Kumamoto University

愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

HIROSHIMA UNIVERSITY

四日市大学
YOKOCHI UNIVERSITY

関西外大
KANSAI GAIDAI UNIVERSITY

AICHI GAKUIN UNIVERSITY

また、モスクワ市立大学、カザフ国立大学、ソフィア大学、ベオグラード大学、リュブリヤナ大学をはじめとする欧州地域の大学とも、Erasmus+を通じた学術交流や学生派遣を行っている。

本学は、国際連携の一環として数多くの海外の大学や教育機関と協力関係を築いており、上越教育大学、南山大学、金沢大学、関西大学、愛媛大学、熊本大学、岡山大学、広島大学、四日市大学、関西外国語大学、さらに愛知学院大学など、日本国内の多数の大学と交流を深めている。

University of Belgrade

MOSCOW CITY UNIVERSITY

SOFIA UNIVERSITY
St. KLEMENT OHRIDSKI
est. 1888

University of Ljubljana

Erasmus+

FARABI
KAZAKH NATIONAL UNIVERSITY



この国際ネットワークを基盤として開催される「バルカン半島日本語サマーキャンプ」では、複数国の大学が参加し、日本語学習と文化交流を中心としたプログラムを共同で実施している。これにより、学生は国際的な視野を広げ、多様な教育環境の中で日本語および日本文化への理解を深める貴重な機会を得ている。





海外研修 プログラム

松下幸之助記念志財団日本語・日本文化研修プログラム



ERASMUS Student Mobility Programs

University of Ljubljana



SOFIA UNIVERSITY
ST. KLIMENT OHRIDSKI



University of
Belgrade



Sakura Science Program





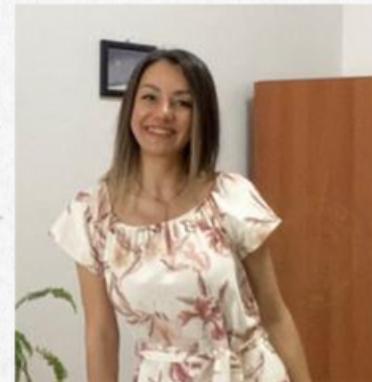
教員



Assst. Prof. Dr. Melek ÇELİK
日本文学



Prof. Dr. Tolga ÖZŞEN
日本学教授
学科長



Assst. Prof. Dr. Esra KIRA
日本語教育・言語学



Lec. Miyuki ICHIMURA
日本語教育



Lec. Ahmet GÜLMEZ
日本語教育・言語学



Lec. Sayako TOKINAGA
日本史・日本語教育



Lec. Natsuko DOI
日本語教育



Lec. Yukiko FUNAKOSHI-GÜLMEZ
日本語教育



学科内業務分担



時間割

Ahmet GÜLMEZ



試験時間割

Dr. Esra KIRA



ECTS

Dr. Melek ÇELİK



文化室

Dr. Melek ÇELİK



ERASMUS 留学

Ahmet GÜLMEZ



予備教育課程

Miyuki ICHIMURA



教育実習

Dr. Esra KIRA



SNS&学科HP

Prof. Dr. Tolga ÖZŞEN
Dr. Esra KIRA



留学生担当

Natsuko DOI



クオリティー・認定学科

Prof. Dr. Tolga ÖZŞEN



卒業生・進路窓口

Dr. Esra KIRA

Dr. Melek ÇELİK

Dr. Esra KIRA

Ahmet GÜLMEZ

Miyuki ICHIMURA

Sayako TOKINAGA

Natsuko DOI

